

■留意事項

- ①試験当日は、ここに記載した内容にもとづいて、自己 PR をしてください。また、自己 PR の後に、この「自己 PR 書」および自己 PR 等に関して、2～3 つの質問をします。
- ②受験会場（普通教室）で、常識の範囲内であれば道具を用いることも可能です。

[自己 PR の方法例]

- ・プレゼンテーションソフトを用いる ・模造紙を用いる ・ギターを用いる
- ・けん玉を用いる ・ダンス ・似顔絵を描く ・英語でスピーチする

- ③自己 PR の方法として、タブレット・パソコン・スマートフォンを持参し、プロジェクターへ接続して行うことも可能です。ただし、次のことに注意してください。

ア HDMI 接続となりますので、HDMI 端子付きの機器でない場合は、HDMI 変換アダプタも持参してください。

イ 作成したデータは、持参する機器本体に必ず事前に保存しておいてください。

- ④万が一、持参した機種の不具合や接続等が上手くいかない場合に備え、代わりの方法を準備しておいてください。
- ⑤この自己 PR 書をコピーしたものを持参してもかまいませんが、その内容をそのまま読んだり、暗記したりして、自己 PR を行うことのないようにしてください。
- ⑥タブレット・パソコン・スマートフォンの貸出しはありません。
- ⑦この用紙のおもて面だけを印刷したものに記入してもかまいません。